

平成25年4月からの 市役所の新しい組織・機構 をお知らせします。



市では、効果的で効率的な執行体制をめざし、組織・機構の見直しを進めています。

☎ 職員法制課職員係（市役所2階 ☎23-3331 内線253）

【伊達市の行政組織】



総務部の機構を見直しました

- 公用車などの管理は総務課総務係で担当していましたが、新たに「車両管理係」を設けました。
- 法制事務を担当していた総務課行政管理係を職員課に統合し、職員課を「職員法制課」とし、職員課に「法制係」を設けました。

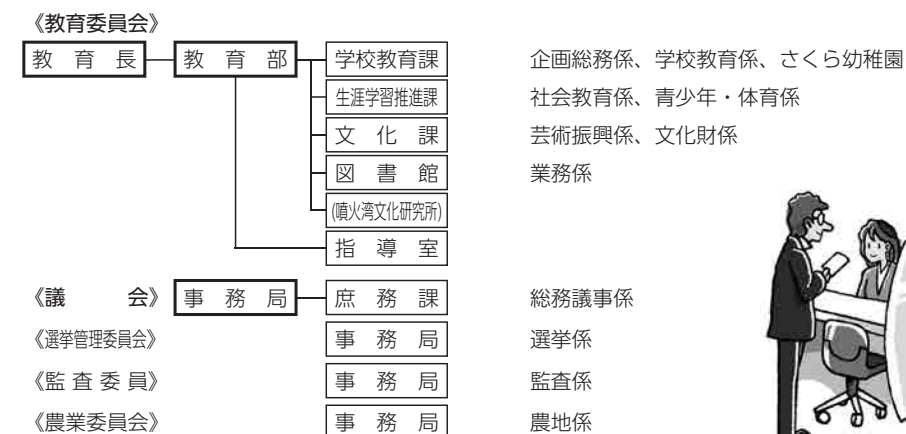
大滝総合支所の機構を見直しました

これまでスタッフ制としていた地域振興課を「地域住民係」と「産業建設係」の2係制にしました。

会計管理者の職位を見直しました

これまで会計管理者は部長職でしたが、課長職に改めました。

【行政委員会等】



今後も、市民の皆さんのニーズや社会情勢の変化に対応できる適正な職員の定員管理と組織・機構の見直しを進めます。

変更後の組織体制は左の組織図をご覧ください。



平成23年度 財務諸表の公表



「財務諸表」とは、企業会計的手法を取り入れ、現在の市の財政状況がどうかを示すものです。

☎ 財政課財政係（市役所 2階 ☎23-3331 内線222）

財務諸表の構成

次の4つの表からなっています。

① 貸借対照表（バランスシート）

これまでの行政運営で保有している公共資産や現金などの資産と、今後返済しなければならぬ負債がどのくらいあるのかを示します。

② 行政コスト計算書

単年度の行政サービスに要した支出と、それによって得られた使用料などの収入の対比を示します。

③ 純資産変動計算書

純資産（資産から負債を差し引いたもの）が1年間でどう増減したかを示します。

④ 資金収支計算書

1年間で現金がどのように動いたかを示します。

財務諸表をみてみましょう

下表の「①貸借対照表」をみると、市民一人あたりの資産は25万円（左側「借方」下段）で、負債は74万円（右側「貸方」中段）、純資産は141万円（右側「貸方」下段）になっていることがわかります。

また、各特別会計や関連団体の財務諸表を連結した連結財務諸表は下表「借方」「貸方」それぞれの右側のとおりになっています。

※さらに詳しい内容は、市ホームページで公開しています

① 貸借対照表（バランスシート）（平成24年3月31日現在）					
借 方		貸 方			
	普通会計	連 結			
公共資産	729億5,517万円	1,009億3,006万円	固定負債	248億7,705万円	370億4,127万円
投資等	25億5,957万円	43億6,949万円	流動負債	22億 536万円	38億8,331万円
流動資産	29億3,690万円	42億8,170万円	負債合計	270億8,241万円	409億2,458万円
うち歳計現金	5億 673万円	14億6,487万円	市民一人あたり	74万円	112万円
資産合計	784億5,164万円	1,095億8,125万円	純資産合計	513億6,923万円	686億5,667万円
市民一人あたり	215万円	301万円	市民一人あたり	141万円	188万円

② 行政コスト計算書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）		
	普通会計	連 結
人にかかるコスト	25億4,192万円	34億 833万円
物にかかるコスト	46億9,025万円	66億6,616万円
移転支的コスト	70億9,023万円	177億8,722万円
その他のコスト	15億 308万円	19億 183万円
経常行政コスト	158億2,549万円	297億6,354万円
市民一人あたり	43万円	82万円
経常収益	7億 532万円	99億4,387万円
市民一人あたり	2万円	27万円
純経常行政コスト	△151億2,017万円	△198億1,967万円
市民一人あたり	42万円	54万円

③ 純資産変動計算書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）		
	普通会計	連 結
期首純資産残高	509億2,639万円	678億2,198万円
純経常行政コスト	△151億2,017万円	△198億1,967万円
一般財源	113億6,037万円	114億 542万円
補助金等受入	42億2,310万円	93億 962万円
その他	△2,046万円	△6,068万円
期末純資産残高	513億6,923万円	686億5,667万円
市民一人あたり	141万円	188万円

④ 資金収支計算書（平成23年4月1日～平成24年3月31日）		
	普通会計	連 結
経常的収支額	34億7,236万円	42億4,996万円
公共資産整備収支額	△ 8億4,886万円	△ 6億1,177万円
投資・財務的収支額	△ 27億3,695万円	△ 38億5,853万円
その他	0万円	9,624万円
期首歳計現金残高	6億2,019万円	15億8,897万円
期末歳計現金残高	5億 673万円	14億6,487万円
市民一人あたり	1万円	4万円

連結とは、普通会計のほか、各特別会計や関連団体を全体で一つの行政サービス実施主体と考え、それぞれの財務諸表を全て一つに連結した財務諸表のことです。

※表中、端数処理の関係で合計などが一致しない場合があります